

2008. 7. 12 第 62号

『片山右京氏の体感学校』開催！

F1コースを足で走る！

体はマシン 心で最速 限界に挑戦！！

主催：北九州イノベーションギャラリー

北九州イノベーションギャラリー(館長：酒井英孝氏 北九州市八幡東区東田 以下、KIGS)では、元F1レーサーの片山右京氏 PRESENTS による「0.001秒への挑戦—体感から生まれるイノベーション—」と題した、市制45周年記念特別企画展を7月12日から9月15日まで開催する。

開催に先立ち、12日オープニングセレモニーが行われ、酒井館長は「車と言えば、現在の車はマンマシンインターフェイスから将来的にはブレーマシンのインターフェイスに進化していくと思う。そのためには多くイノベーションがあって、実現していくのでは思う。現在、車の技術の最先端はF1であります。それは車の生産技術、走行技術も含めその技術の粋を集めたものがこのF1カーになるわけです。これを今回展示し将来を展望して頂きたいと思います。また、本企画は、超一流のレーサーである片山右京氏の PRESENTS “0.001秒への挑戦—体感から生まれるイノベーション—”を紹介し、片山さんの信念は“スピードへの夢を描いたのは人間の

心。その技術を実現したのも人間の心。F1マシンを強い精神力で操っているのは人間自身。イノベーションとは、人間の夢や希望をカタチにする無限の創造力”であるとの言葉を紹介し、ぜひその心を若き大学生や子どもたちに移植していただき、イノベーションの卵を造っていただければと思います」と挨拶を行った。

また、KATAYAMA PLANNINGの増田龍吉プロデューサーは「今回の趣旨としては、片山右京 PR

SENTSということで、車のイノベーションということを行いたいということが始まりであった。片山さんの言葉を借りると体感して、それを感じても頂こうというのが主旨である。たとえば、自分の潜在意識というものがあると、それをもっと超えることができることを子どもたちに分かって頂こうということで、このギャラリーでトヨタ自動車さんから御協力いただきお借りしたF1を見せて、その次に自分自身が車と一体になった気持ちで走って、自分がどこまで限界に挑戦できるかということ子どもも大人の方にも体感して頂きたい。この夏休み期間、子どもたちの心に残るイベントになったらいいと、片山右京さんはじめ企画した皆が願っていることです」と語った。

なお、8月9日(土)、10日(日)、16日(土)には、片山右京氏のトークショー及び直接指導によるF1コースを足で走る体感学校も開催されることとなっている。



挨拶を行う 酒井館長



「心に残るイベントになったら」と語る 増田氏



F1マシン：トヨタ自動車からの提供



片山氏のビデオ映像を見入る子どもたち



自分の限界に挑戦する子どもたち